

# 出雲市文化財保存活用地域計画

【概要版】

令和3年（2021）7月 島根県出雲市

## 計画の概要

### 計画の目的

出雲市は『古事記』『日本書紀』に記された神話の舞台であり、『出雲国風土記』の中でも、豊かな古代出雲の姿や、壮大な国引き神話が語られてきました。悠久の歴史を今に伝える歴史文化遺産として、全国的に注目を集める荒神谷遺跡や西谷墳墓群などの史跡をはじめ、出雲大社や鰐淵寺などの寺社、神楽をはじめとする民俗芸能など、本市を象徴する有形・無形の文化財が多数残されています。

「出雲市文化財保存活用地域計画」は、このような貴重な文化財を後世へ継承するために、文化財の保存・活用の方向性や取組を定め、計画的かつ継続的に実施するための指針となるものです。

計画期間 令和3年度（2021）～令和12年度（2030）

### 計画の位置づけ

【 総合振興計画 】  
出雲未来図

上位計画 ↓

【 構想 】  
出雲市歴史文化基本構想

踏襲 ↓

【 大綱 】  
島根県文化財保存活用大綱

勘案 ↓

【 基本計画・実施計画（法定計画） 】  
出雲市文化財保存活用地域計画

- 「出雲市歴史文化基本構想」を踏襲しつつ、文化財保護法に基づく法定計画として作成
- 文化財保存・活用を推進するための具体的な方針、中長期的に取り組む具体的な措置、推進体制を設定

整合 ↓

【 関連計画 】  
出雲市社会教育計画 出雲市都市計画マスタープラン 出雲市観光基本計画 出雲市景観計画 など

## 歴史文化の特徴

出雲市には様々な分野の文化財と多彩な歴史文化が今に息づいており、4つの特徴があります。

原始・古代の出雲と  
日本の歴史を物語る  
歴史文化



大土地神楽

出雲平野と  
島根半島など  
地理的条件を反映した  
多様な歴史文化



上塩冶地藏山古墳

出雲神話と風土記の  
舞台として  
連綿と受け継がれた  
歴史文化



菟の長浜と三瓶山

古墳群などの  
地域的広がりや寺社の  
歴史的関連などにより  
つながり合う歴史文化



荒神谷遺跡

# 指定文化財の概要・特徴

出雲市には国・県・市指定文化財が計247件(うち国宝3件)、国登録文化財が25件、国重要美術品が3件あり、山陰地方の市町村のなかでも屈指の指定文化財数となっています。

## 有形文化財(建造物・美術工芸品など)

国宝「出雲大社本殿」や重文「旧大社駅本屋」をはじめとする近世から近代までの建造物をはじめ、日御碕神社の国宝「白糸威鎧」、出雲大社の国宝「秋野鹿蒔絵手箱」などの工芸品、萬福寺(大寺薬師)の重文「四天王立像」などの彫刻や、鰐淵寺の重文「鰐淵寺文書」など寺社が保有する優品を中心に数多く伝わり、重文「上塩冶築山古墳出土品」などの考古資料も豊富です。

## 民俗文化財

重要無形民俗文化財「大土地神楽」などの神楽や獅子舞、盆踊りなど市全域で数多く継承されており、伝統的な民俗芸能が高い水準で受け継がれています。

## 記念物(史跡など)

2,000件を超える遺跡があり、弥生時代から近世まで連綿とつながっています。中でも荒神谷遺跡や西谷墳墓群、上塩冶築山古墳、出雲国山陰道跡、鰐淵寺境内をはじめとする国史跡は、全国的にも著名です。



旧大社駅本屋



西谷2号墓



経島ウミネコ繁殖地

# 文化財の保存・活用に関する課題・方針

【基本理念】『神話と風土記の世界が今に息づく出雲』～その歴史文化を地域で守り、生かし、未来へ伝える～

## 文化財の保存・活用に関する課題

### 【全体課題】

- ① 未指定文化財や歴史文化の総合的かつ持続可能な調査と保存・活用の検討
- ② 市民等への文化財や歴史文化に関する情報の提供及び意識啓発
- ③ 文化財や歴史文化を守り生かす担い手や団体等の確保及び育成
- ④ 関連する文化財、歴史文化をつないだ保存・活用
- ⑤ 周辺環境を含めた文化財、歴史文化の保存・活用とまちづくり
- ⑥ 文化財、歴史文化を生かした出雲市や地域の魅力の国内外への発信・誘客
- ⑦ 市民、関係団体、専門家、行政などが連携した文化財、歴史文化の保存・活用の体制づくり

### 【個別課題】

- ① 文化財の滅失・散逸
- ② 無形民俗文化財継承者の不足
- ③ 適切な周期での文化財建造物等修理や史跡整備の必要性
- ④ 文化財の防犯・防火対策及び災害発生時の対応
- ⑤ 埋蔵文化財等保存施設の不足
- ⑥ 文化財専門職員等の人材確保
- ⑦ 出雲弥生の森博物館、荒神谷博物館の役割強化の必要性
- ⑧ 博物館学芸員、ミュージアムエドゥケーターの確保及び育成の必要性
- ⑨ 『出雲国風土記』編さん1300年に向けた取組の必要性
- ⑩ 『出雲市史』編さんの必要性

## 文化財の保存・活用に関する方針

### 【基本的方針】

- ① 受け継がれてきた文化財を知る・伝える(総合的・持続的な文化財調査の推進と発信)
- ② 市民一人ひとりが地域に存在する文化財や歴史文化に地域ならではの価値を再発見・再認識し大切にする
- ③ 関連する文化財をつなぎ、出雲ならではの歴史文化の価値や魅力を高める
- ④ 周辺環境を含めて、文化財を守り、生かし、文化の薫り高い地域をつくる
- ⑤ 文化財を生かした多様な活動・交流のある地域をつくる
- ⑥ 行政分野の連携及び協働のまちづくりを進める

### 【個別課題に対する方針】

- ① 文化財の滅失・散逸防止の取組
- ② 文化財の担い手の減少や神楽等無形民俗文化財の継承者確保対策
- ③ 適切な周期での文化財建造物等修理や史跡整備の実施
- ④ 防犯・防火対策の推進と災害発生時の対応
- ⑤ 埋蔵文化財等保存施設の確保
- ⑥ 文化財専門職員等の計画的な雇用
- ⑦ 出雲弥生の森博物館、荒神谷博物館の役割の強化
- ⑧ 博物館学芸員の確保及びスキルアップ、学校教育と博物館をつなぐミュージアムエドゥケーターの育成
- ⑨ 『出雲国風土記』編さん1300年に向けた取組性
- ⑩ 『出雲市史』編さんの検討

# 日本遺産と関連文化財群・歴史文化保存活用区域

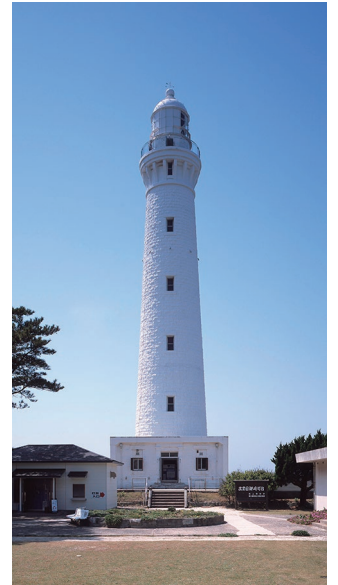
日本遺産及び関連文化財群は、個々の文化財の価値や魅力に加え、それらをテーマ・ストーリーによってつなぎ、相乗効果を発揮させることで、群としての価値や魅力を引き出すものです。これにより、地域への愛着や見学者・観光入込客数の増加などを目指します。

## 日本遺産「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」

日本遺産は、地域の歴史的な魅力や特色を通じて、わが国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。ストーリーを彩る構成文化財を広く活用・情報発信していくことにより、観光誘客など地域活性化を図ることを目的としています。



稲佐の浜の夕日



出雲日御碕灯台

## 関連文化財群

基本的方針で示した、「関連する文化財をつなぎ、出雲ならではの歴史文化の価値や魅力を高める」ことを実現するため、文化財の歴史的・地理的な内容や特色を踏まえ、テーマ、関連性の視点、主な構成要素を整理して11テーマを設定します。



猪目洞窟



上塩冶築山古墳



上塩冶築山古墳出土品

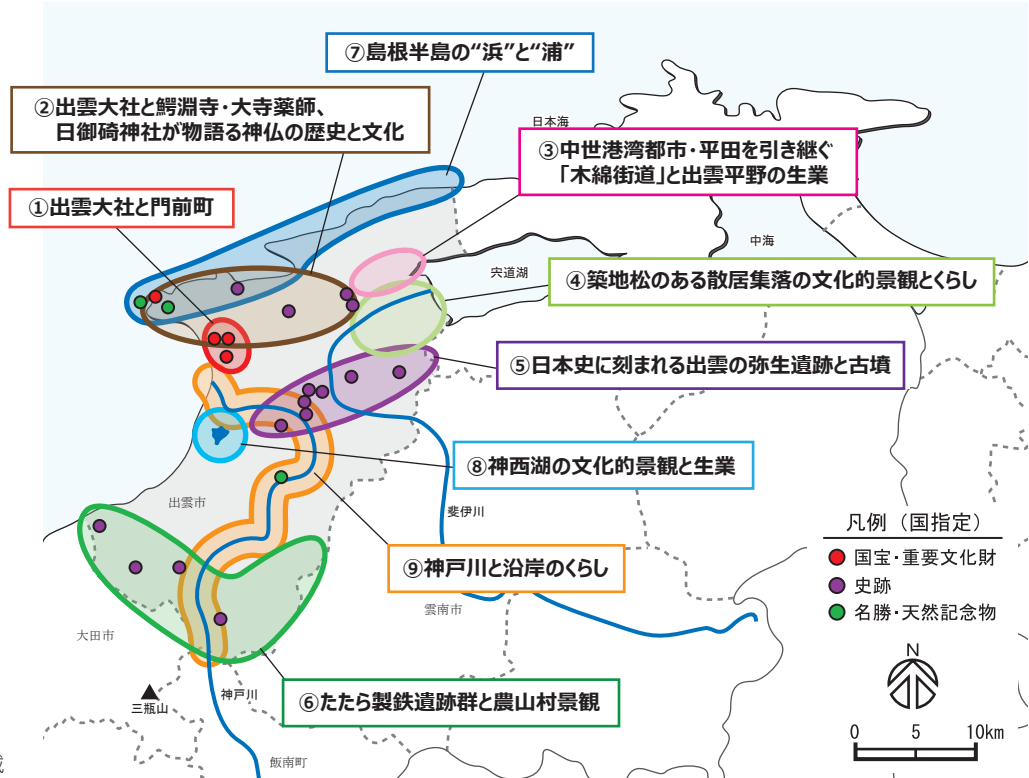
### 11の関連文化財群

- |                                           |                                            |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------|
| ①今に息づく出雲神話と風土記の世界<br>～連綿と歴史文化を引き継ぐ出雲～     | ⑥治水・開拓の歴史と屋敷構え<br>～水と生き、農地を開拓した先人たち～       |
| ②神々と仏が坐す祈りの場<br>～出雲特有の「神仏隔離に基づく習合」と神仏分離～  | ⑦たたらや鉱山とともに生きた足跡<br>～鉄や銅などをつくり運び出してきた歴史文化～ |
| ③出雲平野の形成と原始世界の発展<br>～国引き神話と符号する平野の形成と遺跡群～ | ⑧うみとかわの恵み<br>～水辺の生業～                       |
| ④古墳時代の出雲の勢力とくらし<br>～社会構造と精神世界～            | ⑨地域に息づく民俗芸能や習俗<br>～神々のふるさとのくらしの文化～         |
| ⑤出雲大社と出雲の建築文化<br>～大社造・神社建築の美と精神性～         | ⑩出雲の文芸と学問<br>～出雲大社の社家や旧家、私塾跡などからたどる文化～     |
|                                           | ⑪海・川・陸のみちと町場の形成<br>～多様な交通手段を生かした交流・交易とくらし～ |

## 歴史文化保存活用区域

基本的方針で示した、「周辺環境を含めて、文化財を守り、生かし、文化の薫り高い地域をつくる」ことを実現するため、9つの歴史文化保存活用区域を設定します。

市民参加の取組などを通じて、文化的な空間の保全・創出、文化の薫り高い地域を守り、育てていきます。



9つの歴史文化保存活用区域

# 文化財の保存活用に関する取組

出雲市の文化財の保存・活用については、文化財の保存・活用に関する課題・方針を踏まえ、次のように具体的な措置を計画し、基本理念「神話・風土記の世界が今に息づく出雲」の実現を目指します。

## 1 文化財の調査・指定等に関する取組

- 重点的  
取組
- 古文書及び民具等の調査・研究
  - 文化財所在・現況確認

## 2 文化財の修理・整備・修理技術等継承に関する取組

- 重点的  
取組
- 計画的な史跡保存活用計画策定
  - 適切な周期による建造物保存修理及び史跡整備

## 3 防犯・防災対策・災害時対応に関する取組

- 重点的  
取組
- 防災普及啓発・パトロールの実施
  - 災害時の体制づくり

## 4 情報発信・普及啓発に関する取組

- 重点的  
取組
- 博物館展示及び各種媒体による情報発信
  - 文化財巡りルートづくりによる市民・観光客の利用促進

## 5 人材育成に関する取組

- 重点的  
取組
- 文化財保存継承団体への支援
  - ふるさと学習の推進

## 6 支援団体等民間連携に関する取組

- 重点的  
取組
- 市民、ボランティア団体、協力員との協働・連携による保存・活用
  - 観光事業者と連携した文化財を活用した観光事業の推進

## 7 博物館に関する取組

- 重点的  
取組
- 資料収集の強化と調査研究に基づく展示充実
  - 博物館の役割強化の検討



## 8 『出雲国風土記』編さん1300年に向けた取組

- 重点的  
取組
- 風土記関連資料の調査・研究および情報発信
  - 市史編さんに向けた体制等の検討

## 9 日本遺産・関連文化財群に関する取組

日本遺産「日が沈む聖地出雲  
～神が創り出した地の夕日を巡る～」

- 重点的  
取組
- 構成文化財を会場とした神楽等の活用による魅力発信事業の推進
  - 出雲を深く知る、講座と文化財巡りを合わせた「出雲塾」の実施

関連文化財群

- 重点的  
取組
- 各テーマの情報発信及び保存・活用の推進
  - 文化財巡りルートづくりによる市民・観光客の利用促進

## 10 歴史文化保存活用区域に関する取組

- 重点的  
取組
- 各区域の情報発信及び保存・活用の推進
  - 文化財巡りルートづくりによる市民・観光客の利用促進

【基本理念】神話・風土記の世界が今に息づく出雲  
その歴史文化を地域で守り、生かし、未来へ伝える

# 推進体制



**出雲市** 文化財課  
文化財保存・活用、  
調査・研究、埋蔵文化財、  
博物館運営及び展示 等

関係部署  
観光、景観、防災、教育等の分野  
ごとに調整・連携を図り事業実施



**市民・地域団体等** 市文化財調査協力員  
文化財所有者  
文化財保存・活用団体  
出雲市無形文化財連絡協議会  
地域組織 ほか



**市文化財保護審議会**



**連携を図る関係機関** 県文化財課  
県古代文化センター  
県埋蔵文化財調査センター  
市内及び近隣博物館  
島根大学  
観光事業者 ほか

計画の全文は出雲市公式ホームページに掲載しています。

🔍 出雲市 文化財保存活用 検索



編集・発行 出雲市 市民文化部 文化財課  
〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760 出雲弥生の森博物館内  
Tel : 0853-21-6893 Fax : 0853-21-6617